

キャッシュカード・ビジネスカード共通規定

1. (振込機による振込み)

(1) 振込機を使用して振込資金を預金口座からの振替えにより払戻し、振込みの依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に従って、振込機にカードを挿入し、届出の暗証番号その他の所定の事項を正確に入力してください。

この場合における預金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。

(2) 前項の振込依頼をする場合における1回あたりの振込みは、当金庫または振込提携先所定の金額の範囲内とします。

なお、1日あたりの振込みは当金庫所定の金額の範囲内とします。

(3) 前項の規定にかかわらず、第1項の振込依頼をする場合における当金庫および振込提携先の振込機による1日あたりの振込みについて当金庫が本人(代表者)から当金庫所定の方法により届出を受けた場合には、その届出の金額の範囲内とします。

2. (自動機利用手数料)

(1) 預金機を使用して預金に預け入れをする場合には、当金庫または預入提携先所定の預金機の利用に関する手数料をお支払いいただきます。

(2) 支払機または振込機を利用して預金の払戻しをする場合には、当金庫または支払提携先所定の支払機・振込機の利用に関する手数料(前項の手数料とこの手数料を総称して、以下、「自動機利用手数料」といいます。)をお支払いいただきます。

(3) 自動機利用手数料は、預金の預け入れおよび払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その預け入れ・払戻しをした預金口座から自動的に引き落とします。

なお、預入提携先または支払提携先の自動機利用手数料は、当金庫から預入提携先または支払提携先に支払います。

(4) 振込手数料は、振込資金の預金口座からの払戻し時に、通帳および払戻請求書なしで、その払戻しをした預金口座から自動的に引き落とします。

なお、振込提携先の振込手数料は、当金庫から振込提携先に支払います。

3. (預金機・支払機・振込機故障時等の取扱い)

(1) 停電、故障等により預金機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫本支店の窓口でカードにより預金の預け入れをすることができます。

(2) 停電、故障等により支払機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、当金庫が支払機故障時等の取扱いとして定めた金額を限度として当金庫本支店の窓口でカードにより預金の払戻しをすることができます。

(3) 第1項、2項による預け入れまたは払戻しをする場合には、カードを提出し、当金庫所定の入金票にカードの口座番号、氏名(法人名、代表者名)、金額を記入のうえ、または当金庫所定の払戻請求書にカードの口座番号、氏名、(法人名、代表者名)、金額を記入のうえ、当金庫所定の手続きに従ってください。

この場合、払戻請求書に住所(所在地)、電話番号等の記入を求めることがあります。

(4) 停電、故障等により振込機による取扱いができない場合には、窓口営業時間内に限り、第2項によるほか振込依頼書を提出することにより振込みの依頼をすることができます。

4. (カードによる預け入れ・払戻し金額等の通帳記入)

カードにより預け入れた金額、払戻した金額、自動機利用手数料金額および振込手数料金額の通帳記入は、通帳が当金庫または提携信用金庫の預金機、支払機、振込機および通帳記帳機で使用された場合、または当金庫本支店の窓口へ提出された場合に行います。また、窓口でカードにより取り扱った場合にも同様とします。

5. (カード・暗証番号の管理等)

(1) 当金庫は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当金庫が本人(代表者)に交付したカードであること、および入力された暗証番号と届出の暗証番号とが一致することを当金庫所定の方法により確認のうえ預金の払戻しを行います。当金庫の窓口においても同様にカードを確認し、払戻請求書、諸届その他の書類に使用された暗証番号と届出の暗証番号との一致を確認したうえ取り扱います。

(2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証番号は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人(代表者)から当金庫に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる預金の払戻し停止の措置を講じます。

(3) カードの盗難にあった場合には、当金庫所定の届出書を当金庫に提出してください。

6. (偽造カード等による払戻し等)

(1) 当金庫が個人のお客さまに発行したカードが偽造または変造により不正使用され生じた払戻しについては、本人の故意による場合または当該払戻しについて当金庫が善意かつ無過失であって本人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合を除き、その効力を生じないものとします。

この場合、本人は、当金庫所定の書類を提出し、カードおよび暗証番号の管理状況、被害状況、警察への通知状況等について当金庫の調査に協力するものとします。

- (2) 当金庫が法人のお客さまに発行したカードが偽造または変造により不正使用され生じた払戻しにかかる損害については、前条の規定に基づき入力された暗証番号と届出の暗証番号との一致を確認して取り扱いました場合は、当金庫および支払提携先は責任を負いません。

ただし、この払戻しがカードおよび暗証番号の管理について預金者の責に帰すべき事由がなかったことを当金庫が確認できた場合の当金庫の責任については、この限りではありません。

7. (盗難カードによる払戻し等)

- (1) 当金庫が個人のお客さまに発行したカードが盗難されたことにより不正使用され生じた払戻しについては、次の各号により取り扱います。

- ① 当該払戻しについては、次のすべてに該当する場合、本人は当金庫に対して当該払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額の補てんを請求することができます。

- A. カードの盗難に気づいてからすみやかに、当金庫への通知が行われていること
- B. 当金庫の調査に対し、本人から十分な説明が行われていること
- C. 当金庫に対し、警察署に被害届を提出していることその他の盗難にあったことが推測される事実を確認できるものを示していること

- ② 前号の請求がされた場合、当該払戻しが本人の故意による場合を除き、当金庫は、当金庫へ通知が行われた日の30日（ただし、当金庫に通知することができないやむを得ない事情があることを本人が証明した場合は、30日にその事情が継続している期間を加えた日数とします。）前の日以降になされた払戻しにかかる損害（手数料や利息を含みます。）の額に相当する金額（以下、「補てん対象額」といいます。）を補てんするものとします。

ただし、当該払戻しが行われたことについて、当金庫が善意かつ無過失であり、本人に過失があることを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん対象額の4分の3に相当する金額を補てんするものとします。

- ③ 前号の規定は、第1号にかかる当金庫への通知が、盗難が行われた日（当該盗難が行われた日が明らかでないときは、当該盗難にかかる盗難カード等を用いて行われた不正な預金払戻しが最初に行われた日）から、2年を経過する日後に行われた場合には、適用されないものとします。

- ④ 第2号の規定にかかわらず、次のいずれかに該当することを当金庫が証明した場合には、当金庫は補てん責任を負いません。

- A. 当該払戻しが行われたことについて当金庫が善意かつ無過失であり、次のいずれかに該当する場合
 - a. 本人に重大な過失があることを当金庫が証明した場合
 - b. 本人の配偶者、二親等内の親族、同居の親族、その他の同居人、または家事使用人によって行われた場合
 - c. 本人が、被害状況についての当金庫に対する説明において、重要な事項について偽りの説明を行った場合
- B. 戦争、暴動等による著しい社会秩序の混乱に乗じまたはこれに付随してカードが盗難にあった場合

- (2) 当金庫が法人のお客さまに発行したビジネスカードが盗難されたことにより不正使用され生じた払戻しにかかる損害については、第5条の規定に基づき入力された暗証番号と届出の暗証番号との一致を確認して取り扱ったうちは、当金庫および支払提携先は責任を負いません。

8. (カードの紛失、届出事項の変更等)

カードを紛失した場合または氏名（法人名、代表者名）、代理人、暗証番号その他の届出事項に変更があった場合には、直ちに本人（代表者）から当金庫所定の方法により当金庫に届け出てください。

9. (カードの再発行等)

- (1) カードの盗難、紛失等の場合のカードの再発行は、当金庫所定の手続きをした後に行います。

この場合、相当の期間をおき、また保証人を求めることがあります。

- (2) カードを再発行する場合には、当金庫所定の再発行手数料をお支払いいただきます。

10. (預金機、支払機、振込機への誤入力等)

- (1) 預金機・支払機・振込機の使用に際し、金額等の誤入力により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。

なお、預入提携先の預金機、支払提携先の支払機、振込提携先の振込機を使用した場合の預入提携先、支払提携先または振込提携先の責任についても同様とします。

- (2) カードによる窓口での預金の預け入れまたは払戻しをする際に、当金庫所定の入金票または払戻請求書への金額等の誤記入により発生した損害については、当金庫は責任を負いません。

11. (解約、カードの利用停止等)

- (1) 預金口座を解約する場合またはカードの利用を取りやめる際には、そのカードを当店に返却してください。また、当金庫普通預金規定または貯蓄預金規定により、預金口座が解約された場合にも同様に返却してください。

なお、未処理取引がある場合は、その処理が終了するまで解約を延期させていただく場合があります。

- (2) カードの改ざん、不正使用など当金庫がカードの利用を不適当と認めた場合には、その利用をおことわりすることがあります。

この場合、当金庫からの請求がありしだい直ちにカードを当店に返却してください。

(3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。

この場合、当金庫の窓口において当金庫所定の本人確認書類の提示を受け、当金庫が本人であることを確認できたときに停止を解除します。

① 第 12 条に定める規定に違反した場合

② 預金口座に関し、最終の預け入れまたは払戻しから当金庫が別途表示する一定の期間が経過した場合

③ カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当金庫が判断した場合

12. (譲渡、質入れ等の禁止)

カードは譲渡、質入れまたは貸与することはできません。

13. (規定の適用)

この規定に定めのない事項については、当金庫普通預金規定、総合口座取引規定、貯蓄預金規定、デビットカード取引規定、ICカード特約、生体認証特約および振込規定により取り扱います。

14. (通知等)

届出のあった氏名、住所にあてて当金庫が通知または送付書類を発送した場合には、延着または到達しなかったときでも通常到達すべき時に到達したものとみなします。

15. (規定の変更)

(1) この規定の各条項その他の条件は、金融情勢の状況の変化その他の事由があると認められる場合には、当金庫ウェブサイトへの掲載による公表その他相当の方法で周知することにより、変更できるものとします。

(2) 前項の変更は、公表等の際に定める適用開始日から適用されるものとします。

以 上